

類別：機械器具（22）検眼用器具
一般医療機器：中心フリッカ値測定装置 JMDN70091000

ハンディフリッカ HF-III

【禁忌・禁止】

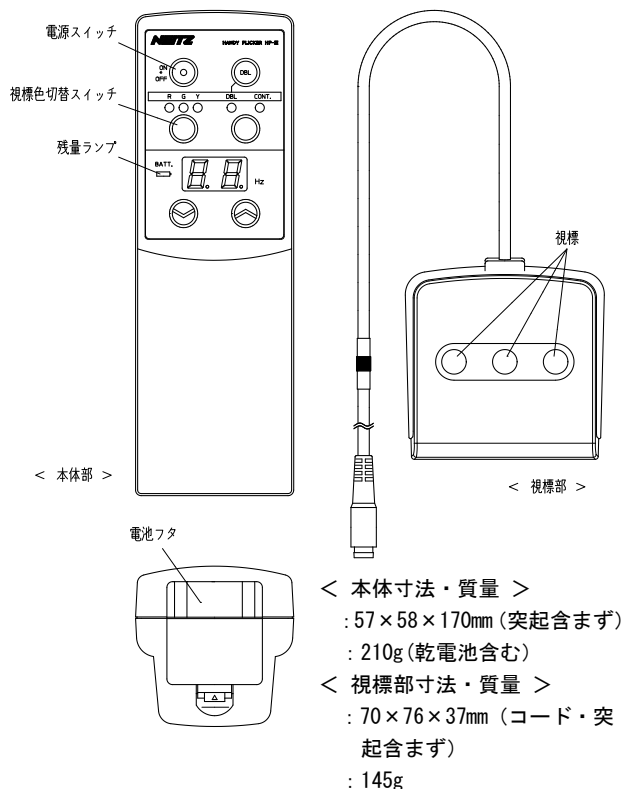
- (1) 本器を滅菌しないこと。[変形や故障する可能性があるため。]
- (2) 高酸素濃度雰囲気および引火ガス、粉塵のそばで使用しないこと。[引火、爆発の恐れがあるため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本器は、以下の構成からなり、補充用として単品で供給する場合もある。

- (1) ハンディフリッカ HF-III（以下、本体）・・・・・・・・・1
- (2) 視標部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (3) AC アダプタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (4) USB ケーブル（Type-C）・・・・・・・・・・・・・・・・1
- (5) 単 4 形アルカリ乾電池・・・・・・・・・・・・・・・・2
- (6) 検査用紙・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50



2. 仕様

- (1) 周波数 : 1～79Hz (1Hz ステップ)
- (2) 周波数設定方式 : 押しボタンによる UP / DOWN 方式
- (3) 周波数精度 : 各設定値に対し、0.01% 以下
- (4) パルス DUTY 比 : 50% 矩形波
- (5) 点灯方式 : 連続 / 二重閃光
- (6) 視標輝度安定度 : 10% 以下 (残量ランプが点灯するまで)
電池残量が残りがわずかになると残量ランプが橙色に点灯

- (7) 視標 : 発光ダイオード
主波長 赤 (R) 660nm
緑 (G) 555nm
黄 (Y) 570nm
- (8) 視標サイズ : $\phi 8.7\text{mm}$
- (9) 商用電源からの入力 : AC100-240V / 50-60Hz
- (10) 使用電池 : 単 4 形アルカリ乾電池 2 本
- (11) 動作保証条件 : 温度 10～40℃
湿度 30～90% (結露なきこと)

3. 作動・動作原理

本体部のロジック回路によりデューティー比が 1:1 の矩形波が生成され、1～79Hz の間の任意の周波数のパルス列 (1Hz ステップ) が得られる。その信号は本体部に接続される視標部の LED ユニットを点滅させる。

【使用目的又は効果】

中心フリッカ値を測定し、視機能、特に視神経の検査を行う。

【使用方法等】

＜ 使用方法 ＞

- (1) 被検者を比較暗室で数分間順応させる。
 - (2) AC アダプタを本体に接続、または乾電池を挿入し、電源スイッチを押す。
 - (3) 視標の色を視標色切替スイッチで選択する。
 - (4) 被検眼と視標との距離を 25cm に、また視標に視軸が概ね直角になるように椅子の高さを調節して座らせる。
 - (5) フリッカ値を 20Hz 程度にして光が見えるか、ちらついているかを被検者に尋ね、徐々に周波数を増加させながら、ちらつきが無くなったときに合図させる (上昇法)。
 - (6) フリッカ値を 70Hz 程度にして、ちらつきが無くなっているかを被検者に尋ね、徐々に周波数を減少させながらちらつき始めたときに合図させ、そのときのフリッカ値を求める。
 - (7) 結果を検査用紙に記録して判定する。
 - (8) 必要に応じ、連続 / 二重閃光を切り替えることもできる。
- ※ 詳細については、附属の取扱説明書を参照のこと。

【使用上の注意】

＜ 重要な基本的注意 ＞

- (1) 袋や布を被せるなど放熱を妨げるような使用をしないこと。
[内部が高温になり、故障や火災、火傷する可能性があるため。]
- (2) 直射日光が当たる場所や気温・湿度が大きく変動するような場所では使用しないこと。[結果に影響を及ぼす可能性があるため。]

【保管方法及び有効期間等】

＜ 保管方法 ＞

- (1) 保管時温度 : -10～60℃
- (2) 保管時湿度 : 10～95% (結露なきこと)

＜ 耐用期間 ＞

本器の耐用期間は、附属の取扱説明書に基づく使用で 8 年間とする。[自己認証 (当社データ) による]

取扱説明書を必ず参照してください。

【保守・点検に係る事項】

＜ 清拭・消毒の方法 ＞

本器が汚れた場合、取扱説明書に記載の手順にしたがって清拭や消毒をすること。

＜ 使用者による保守点検事項 ＞

残量ランプが橙色に点灯した際には、電池フタを脱着し電池交換をするか AC 接続に切り替えること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者名称：株式会社ナイツ